

作成日 2024 年 6 月 1 日

(臨床研究に関するお知らせ)

リウマチ性髄膜炎、細菌性髄膜炎、ウイルス性髄膜炎、関節リウマチで通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座とリウマチ・膠原病内科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「症例対照研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

リウマチ性髄膜炎の診断と病勢評価におけるセマフォリン 4A の有用性の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座 学内助教 村上 圭秀

3. 研究の目的

リウマチ性髄膜炎は関節リウマチによって引き起こされる脳の炎症です。現時点で、血液や脳脊髄液の検査によってリウマチ性髄膜炎と診断する方法はありません。私たちは、セマフォリン 4A という脳の自己免疫性疾患で上昇する蛋白質に着目しました。本研究では、血液と脳脊髄液中のセマフォリン 4A がリウマチ性髄膜炎の診断や病状評価に有用か調査することを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

- ・2014年4月から2024年3月までの間に、和歌山県立医科大学附属病院脳神経内科でリウマチ性髄膜炎の治療を受けた患者さん
- ・2014年4月から2024年3月までの間に、和歌山県立医科大学附属病院脳神経内科で細菌性髄膜炎またはウイルス性髄膜炎の治療を受けた患者さん
- ・2014年4月から2024年3月までの間に、和歌山県立医科大学附属病院リウマチ・膠原病内科で関節リウマチの治療を受けた患者さん
- ・診療で用いた試料を、研究目的で保存や使用することに同意した患者さん

(2) 研究期間

研究実施許可日～2025年12月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータはですが、電子カルテ内に保存されている情報、研究目的で保存している血清と脳脊髄液、病理検体です。

(5) 方法

電子カルテから年齢、性別、病歴、身体所見、血液と脳脊髄液の検査所見、画像所見、治療法、治

療に関する反応性を調査します。保存している血液と脳脊髄液中のセマフォリン 4A を測定し、リウマチ性髄膜炎の患者さん、細菌性髄膜炎の患者さん、ウイルス性髄膜炎の患者さん、関節リウマチの患者さんで差があるのか調査します。病理検体を利用して、どのような細胞がセマフォリン 4A を分泌しているのか調べます。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学脳神経内科学講座

担当者：村上 圭秀

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-441-0655 FAX：073-441-0655

E-mail：keishu@wakayama-med.ac.jp